エ　水田耕起前除草剤

|  |
| --- |
|  |

農薬等普及展示(長野県 2019)

（１行空け）

整理番号（全角） 課　題　名（左寄せ）

（１行空け）

農業改良普及センター

(試験場協力試験の場合は試験場名も並記)

（１行空け）

１ 目 的　（設計書の目的を記入する）

２ 設置場所

３ 担当者名　農業改良普及センター　　　　　　農家

４ 展示ほ設置方法

(1) ほ場条件

 ① 標高　　　　② 土質(灰色低地、褐色森林、黒ボク)・土性(砂土、砂壌土、壌土、埴壌土、埴土)

 　 ③ 腐植の多少 　 ④ 排水良否

⑤ 平年の雑草の発生状況 (主要雑草名と多少)

 　 ⑥ 減水深

(2) 耕種概要

 ① 品種　　「　　　」

② 耕起日

(3) 設置状況

① 面積、区制 １区　ａ

　　② 区割り見取り図

③ 処理時の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 展示区 | 雑草の発生程度 | 天候等 |  |
|
| (展) |  一年生雑草（タネツケバナ　20cm）  |   |
| (対) |  | 　 |

５ 供試薬剤

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 散　　　　　　　布 | 　委託会社 |  |
| 時　　期 | 量(kg/10a) | 方　　　法 |
| (展) |  | 　 |   |  ○○○（株） |
| (対) |  |   |   |  |

６　展示成績

(1) 雑草調査

① 耕起前の雑草調査(㎡当り) 　　　(調査日 月　日　　処理後　日）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | タネツケバナ | ハコベ | オオバコ | セ　　リ | 合　　計 |  |
| 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ |
| (展) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (対) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 無処理 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 注１ 雑草の記載順序は一年生雑草、多年生雑草の順に記載する

注２ 雑草名は原則として正式名称を用いる。類似草種(参考(2)参照)についてはノビエ、ホタルイ、タデ、カヤツリグサなどのように総称を用いることにし、必要に応じて正式名称を記載する。

 注３ 草丈、占有率は整数で記載する。

(2)　生育調査　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(調査日 月　日）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 活着良否 | 初期生育良否 | 薬害程度 | 薬害症状 |
| (展) |  |  |  |  |
| (対) |  |  |  |  |
| 無処理 |  |  |  |  |

 注１　薬害が明らかに発生している場合は草丈・茎数調査を行う。

７　考察 (除草剤又は体系ごとに対照薬剤， 無処理に比較して)

　(1) 除草効果(全般的効果，及び対象雑草への効果)

　　　定型文「展示薬剤○○は、対照薬剤△△と同等の効果が認められた。」

その他のコメントは、定型文のあとに記載。

(2) 薬害の状況(生育状況，薬害の有無，様相，程度)

　(3) その他(散布の難易，普及上の問題点，気付いた点、農家の感想等)

８　評価

　下記により該当するものに○印をする。

　Ｂ、Ｃと評価した場合は、「７　考察」にその理由を記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　評価展示薬剤 | 効　果 | 薬　害 | 総合評価 |
| Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 　Ａ：実用性有り、薬害無～微　Ｂ：継続検討、薬害少～中　Ｃ：実用性なし、薬害甚